

医学英語Ⅳ

科目責任者 山口重樹

学年・学期 4学年・1学期

I. 前 文

医師には、最先端の医療を提供するために最新の原文（多くが英語）の教科書や英文医学論文を読み解き、最新の知識をアップデートする必要があります。また、英語での研究発表能力や学会での自由な討論能力などの国際的交流が、最新の知識をアップデートに繋がります。そのため、卒前・卒後・専門教育における一貫した医学英語教育が重要になってきます。その基礎となるが英語の専門用語の習得となります。本講義では、「医学英語Ⅳ」構成科目である「公衆衛生学」、「法医学」、「緩和ケア」、「遺伝子と医学」、「症候学」、「臨床腫瘍学」の専門講義ごとに、英語の専門用語を集中的に整理・学習します。なお、本学大学院における学位申請に係る外国語試験は第4学年以上の医学部学生にも受験資格が与えられています。この大学院外国語試験の受験も視野に入れて学習していただきたいと思います。

II. 担当教員

教授 山口重樹 獨協医科大学医学部麻酔科学

III. 一般学習目標

・英文教科書や臨床系の英語論文（症例報告や臨床研究など）を読解するために必要な英語の専門用語の習得を目指します。

IV. 学修の到達目標

- 1) 英文教科書あるいは国際誌の臨床英語論文の内容を理解できる。
- 2) 第5学年でのCCで臨床実習する際に必要とされる専門用語を理解できる。
- 3) 病歴やレポートの専門用語を英語で記載できる。
- 4) 本学大学院で学位申請をする際に必要とされる医学英語を理解できる。

V. 授業計画及び方法 * () 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業（知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。）
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション
6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	4	6	月	3	「医学英語Ⅳ」を学ぶにあたって	山口重樹	1

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

「医学英語Ⅳ」構成科目の定期試験問題内の英語問題が「医学英語Ⅳ」の評価として集計されます。

VII. 教科書・参考図書・AV資料

- 1) 教材
毎時間必要な教材を配布します。
- 2) 辞書
『ステッドマン医学大辞典 改訂第6版』メジカルビュー社 2008年
日本医学会 医学用語辞典 Web版 (<https://jams.med.or.jp/dic/mdic.html>) 各領域の教科書・参考図書

VIII. 質問への対応方法

講義時間中に受け付けます。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	○
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	◎
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	◎

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

各構成科目の各講義内で、随時解説します。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

事前学習（120分）：各構成科目の講義シラバス内の医学用語および関連領域の英訳を試みる

事後学習（120分）：各構成科目の講義の内容の英訳を試みる

XII. コアカリ記号・番号

各構成科目のシラバス及びシラバス別冊を参照のこと。なお、シラバス別冊に記載がない場合、要点を確認しておくこと。